

日本財託、マンション投資セミナー

オンラインに手応え

参加者数2・6倍に

日本財託はこのほど、マンション投資セミナーの申込者数が前年の約1・9倍に増えたと発表した。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、同社では来場型で実施していた投資セミナーを、3月中旬か

らオンラインに切り替えた。5月24日までに計9回実施し、申込者数は前年同期比約1・9倍に当たる1310人となった。当日の参加者数は同2・6倍（837人）で、個別の相談数は同2・1倍

（315人）に伸びた。

オンラインにすることで遠隔地からの申し込みが増え、参加者の裾野が広がったという。

集客数が増えた一方で、参加者の投資意欲のバラツキが拡大。積極的な検討者が一定数いる一方で、新型コロナウイルスによる景気の不透明感や不動産価格の変動を懸念し、購入に慎重な姿勢も見られたという。